

海外現地法人の動向（海外現地法人四半期（1～3月期）調査）

要 旨

平成17年7～9月期の先行きDI

- ・ 売上高の現状判断は、大幅に改善。先行きも高い景況感を持続。特に電気機械は前期のマイナス水準から改善し、現状判断、先行きもさらに大幅な改善見込み。輸送機械は、高水準ながらも前期比は悪化。
- ・ 設備投資の現状判断は、大幅な改善。先行きは、やや悪化の見込み。アジアの投資意欲は高く、ASEAN4、中国で引き続き高い。
- ・ 従業者は、NIES3を除く地域で、わずかに悪化。

平成17年1～3月期の実績

- ・ 売上高は、6期連続2桁台の増加。電気機械、輸送機械等が好調ですべての地域で増加。特にアジアが好調。中国は電気機械等が好調を維持。
- ・ 設備投資はASEAN4、中国が大幅な増加。東欧圏での設備投資が輸送機械関連で活発となっているのが注目される。
- ・ 従業者は、アジアが引き続き増加。北米、欧州は減少。

今回調査のポイント

調査時点：平成17年5月中旬

1. 売上高先行きDI^{*1}は、24.5%ポイントと高い景況感。実績は、前年同期比14.1%増と6期連続2桁台の増加で、好調を維持。

現状判断DIは大幅に改善。先行きも高い景況感を維持。IT関連の在庫調整が一巡したNIES3が大きく回復。先行きDIの前期比は、やや悪化。北米は、輸送機械等が悪化となったが依然高水準を維持。欧州は、輸送機械、電気機械の主力業種の悪化により景況感が落ち込む。アジアは、電気機械、一般機械の大幅な改善が目立つ。

実績は、すべての地域で引き続き増加。特にアジアは、11期連続2桁台の増加。なかでも中国は、電気機械が好調で大幅増加を維持。北米、欧州は輸送機械が好調で引き続き増加。

2. 設備投資先行きDIは、14.9%ポイントとやや悪化。実績は、前年同期比24.5%の大幅な増加で9期連続の増加。

現状判断DIは、大幅改善。先行きDIは、若干の悪化も、すべての地域で引き続きプラス水準。欧州を除き2桁台の水準を維持。アジアは、輸送機械等の悪化により、わずかに悪化。欧州は、輸送機械、電気機械が悪化。北米は電気機械が好調で引き続き改善。

実績は、NIES3^{*2}を除くすべての地域で増加。アジアは引き続き増加。なかでも、ASEAN4^{*3}は輸送機械が好調で、5期連続の大幅増加。中国^{*4}は、電気機械、輸送機械が好調で3期連続の大幅な増加。欧州も輸送機械が好調で3期連続で大幅増加。特に東欧圏の輸送機械関連の設備投資が活発。北米は、電気機械が8期連続の増加。

3. 従業者先行きDIは、8.3%ポイント。NIES3がやや回復し、すべての地域でプラス水準。実績は、前年同期比4.3%増と12期連続の増加。

現状判断DIは、改善。先行きDIは、NIES3がやや回復し、すべての地域でプラス水準。前期比は、NIES3を除くすべての地域で悪化。北米、欧州は、電気機械、輸送機械の主力業種が悪化。アジアもわずかに悪化。アジアでは、中国、ASEAN4が2桁台の水準を維持したものの、わずかに悪化。

実績は、北米、欧州が減少し、アジアは増加。アジアでは、中国が電気機械等が好調なことから引き続き増加。ASEAN4は、輸送機械が好調で増加。

注) *1：DIの調査期間を平成16年4～6月期調査から3ヶ月に変更（従前6ヶ月の調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査）

・ DI = 増加と回答した企業の割合 - 減少と回答した企業の割合

・ 現状判断DIの前期比 = 平成17年4～6月DI(現状判断) - 平成17年1～3月DI(現状判断)

・ 先行きDIの前期比 = 平成17年7～9月DI(先行き) - 平成17年4～6月DI(現状判断)

*2 NIES3：シンガポール、台湾、大韓民国

*3 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

*4 中国：香港を含む。

1. 売上高

売上高の現状判断DI（17年4-6月見通し）は大幅に改善。先行きDI（17年7-9月）引き続き高い景況感を持続。アジアを中心に高水準。先行きDIの前期比はやや悪化。

- ・ 現状判断DI（17年4-6月見通し）は、IT関連の在庫調整が一巡したNIES3が大幅に改善。
- ・ 先行きDIは、引き続き高い景況感を持続。北米は、輸送機械が悪化となったが依然高水準。欧州は、輸送機械、電気機械の主力業種が悪化。アジアでは、ASEAN4、NIES3の電気機械の大幅な改善が目立つ。

売上高実績は、前年同期比14.1%増で6期連続2桁台の増加と好調を維持。

すべての地域で引き続き増加。アジアは11期連続2桁台の増加。特に中国は電気機械をはじめ輸送機械等が好調を維持。ASEAN4は輸送機械が前期に引き続き好調。北米は主力の輸送機械が3期連続2桁台の増加。欧州は、輸送機械が好調持続も、電気機械の増加幅が縮小したことから、6期ぶりに1桁台の増加。

（参考）海外経済 世界の景気は着実に回復している。アメリカでは、景気は拡大している。アジアでは、中国で景気の拡大が続いている。台湾では、景気は拡大している。韓国では、景気の回復が緩やかになっている。シンガポールでは、景気の拡大は緩やかになっている。ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しており、英国の景気は堅調に回復している。（月例経済報告（6月）より抜粋）

- (1) 売上高現状判断DI（17年4-6月）は、25.9%ポイントと前期現状判断DI（17年1-3月）に比べ、16.1%ポイントの大幅な改善。
先行きDI（17年7-9月）は、24.5%ポイントと高水準を維持しているが、今期現状判断DI（17年4-6月）に比べ、同 1.4%ポイントとわずかに悪化（1表、1図、2図）。

- ・ 現状判断DIは大幅に改善。先行きDIも引き続きの高い景況感を維持。アジアは5期ぶりに30%台の高水準。特にIT関連の在庫調整が一巡したNIES3が、大きく回復。また、中国の電気機械は、前期現状判断DI0.0%ポイントが、今期現状判断DI37.9%ポイントと急激に改善し、今期先行きDIも42.0%ポイントと高い景況感を維持。
先行きDIの前期比は、現状判断DIが高水準で推移したことから、1.4%ポイントの悪化となった。輸送機械等の悪化から北米（前期比 6.0%ポイント）、欧州（同 14.3%ポイント）は悪化となったが、北米は依然として高水準を維持。一方、アジア（同 1.7%ポイント）は、電気機械、一般機械が大幅に改善したが、化学等が悪化したことから、わずかに改善。特に電気機械は、ASEAN4（同 13.0%ポイント）、NIES3（同 16.3%ポイント）の大幅な改善が目立つ。

- (2) 売上高実績（ドルベース）は、前年同期比 14.1%増と、6期連続2桁台の増加と好調を維持（1表、1図、3図）。

- ・ すべての地域で引き続き増加。特にアジアは、11期連続2桁台の増加。なかでも、中国（同 27.9%増）は、電気機械、輸送機械をはじめ主要業種の伸びが目立ち、11期連続2桁台の増加と好調を維持。ASEAN4は、電気機械（同 4.1%増）が前期に引き続き1桁台の伸びにとどまったものの、輸送機械（特にタイが好調）の好調により、同 21.6%の増加。NIES3は、依然としてIT関連の輸出がふるわないことから、電気機械（同 5.6%減）が減少したものの、輸送機械（同 45.2%増）が3期連続の大幅増と好調なことから、同 11.8%の増加となった。また、北米（同 11.0%増）は、主力の輸送機械が3期連続2桁台の増加と好調を維持。欧州（同 9.2%増）は、輸送機械は好調を維持したが、電気機械の増加幅が縮小したことから6期ぶりに1桁台の増加にとどまった。

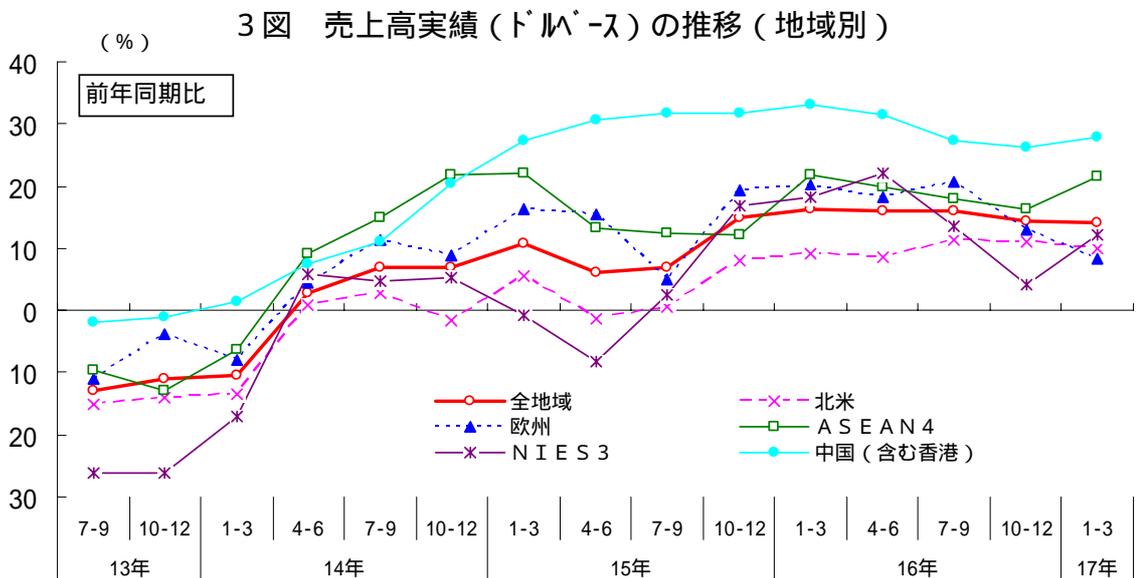
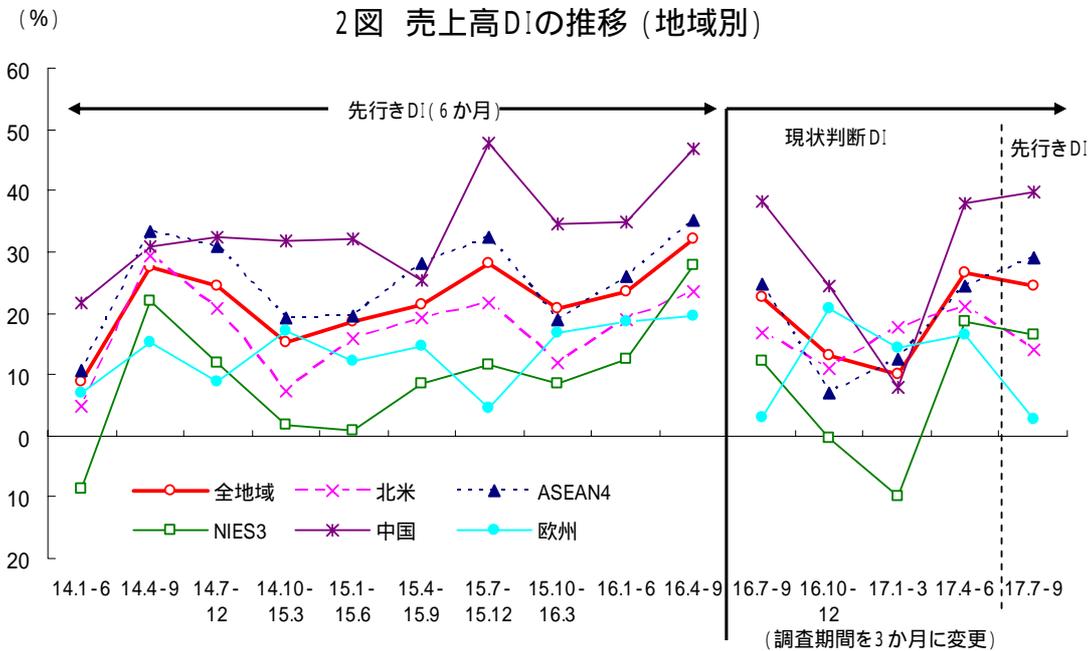
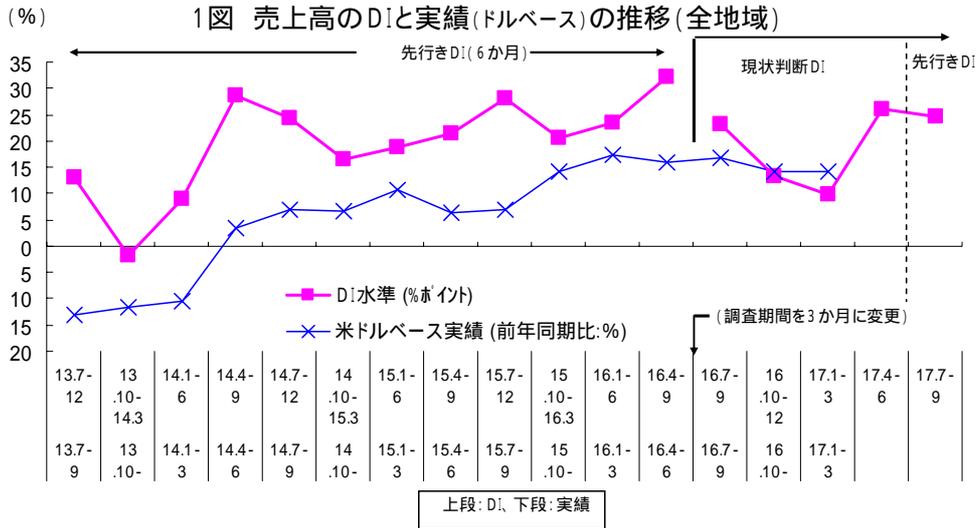
1表 売上高のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %）

	計（地域・業種）			北米			アジア			ASEAN4 ¹⁾			NIES3 ²⁾			中国（香港を含む） ⁴⁾			欧州		
DI	9.8	25.9	24.5	17.8	20.8	14.8	7.9	29.7	31.4	11.9	25.6	29.1	9.9	18.6	15.5	9.4	38.0	39.9	13.9	17.0	2.7
DI前期比	(16.1)	1.4		(3.0)	6.0		(21.8)	1.7		(13.7)	3.5		(28.5)	3.1		(28.6)	1.9		(3.1)	14.3	
実績(前年同期比)	14.1			11.0			21.1			21.6			11.8			27.9			9.2		
	輸送機械			電気機械			一般機械			化学			鉄鋼								
DI	22.5	27.5	19.4	3.2	18.8	27.2	13.7	24.0	24.1	15.8	33.9	27.0	30.2	41.2	21.6						
DI前期比	(5.0)	8.1		(22.0)	8.4		(10.3)	0.1		(18.1)	6.9		(11.0)	19.6							
実績(前年同期比)	20.9			6.4			12.1			24.9			30.0								

注) DIは、「17年1-3月(現状) 17年4-6月(現状) 17年7-9月(先行き)」の順である。

DI前期比は、カッコ内が「現状判断DIの前期比」、カッコ外が「先行きDIの前期比」である（1ページの注を参照）。



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

設備投資額の現状判断DI（17年4-6月見通し）は、大幅に改善。先行きDIは若干の悪化見込みも、すべての地域でプラス水準を維持。

- ・ 現状判断DI（17年4-6月見通し）は、北米を除き大幅に改善。特にNIES3は輸送機械等が好調で大きく改善。
- ・ 先行きDIは、全地域で引き続きプラス水準を維持したが、わずかに悪化。アジアは、輸送機械等の悪化によりやや悪化。欧州は、主力の電気機械、輸送機械が悪化。北米は、電気機械が好調で引き続き改善。

設備投資額の実績は、前年同期比24.5%増と9期連続の増加。

NIES3を除くすべての地域で増加。アジアは引き続き大幅な増加。欧州は3期連続の大幅増加。特に東欧圏での設備投資が輸送機械関連で活発。北米は電気機械の設備増強から増加に転じた。アジアでは、中国の大幅増が目立つ。ASEAN4も5期連続の大幅増加。一方、NIES3は、電気機械、輸送機械の減少により2期連続の減少。

- (1) 設備投資額の現状判断DI（17年4-6月）は、15.9%ポイントと前期現状判断DI（17年1-3月）に比べ、7.7%ポイントの改善と、すべての地域で改善。先行きDI（17年7-9月）は、14.9%ポイントと今期現状判断DI（17年4-6月）に比べ、1.0%ポイントとわずかに悪化。（2表、4図）
- ・ 先行きDIは、すべての地域で引き続きプラス水準（欧州を除き2桁台の水準を維持）。前期比は、わずかに悪化。アジア（同1.3%ポイント）は、一般機械が改善となったものの、輸送機械等の悪化から、わずかに悪化。欧州（同6.4%ポイント）は、主力の電気機械、輸送機械が悪化。一方、北米（同4.0%ポイント）は、電気機械が好調で引き続き改善。アジアでは、ASEAN4（同1.4%ポイント）の輸送機械、電気機械の悪化が目立つ。NIES3（同8.5%ポイント）は、輸送機械が大きく悪化の見込み。また、中国（同0.7%ポイント）は、化学、鉄鋼が大幅に悪化したが、輸送機械が堅調なことからほぼ横ばい。水準は依然として高い。
- (2) 設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比24.5%増と9期連続の増加（2表、5図）。
- ・ NIES3を除く全地域で増加。アジアは引き続き大幅に増加。なかでもASEAN4（同30.8%増）は、主力の輸送機械が好調（特にタイが好調）で、5期連続の大幅な増加。中国（同81.2%増）も、輸送機械、電気機械が大幅に増加したことから、3期連続の大幅な増加。欧州（同44.3%増）は、輸送機械が堅調で3期連続の大幅増加。特に東欧圏での輸送機械関連の設備投資が活発になっているのが注目される。また、北米（同6.0%増）は、輸送機械が2期連続の減少となったが、半導体設備等の増強から電気機械が8期連続の大幅増加となり、増加に転じた。NIES3（同19.9%減）は、電気機械、輸送機械の大幅な減少により、2期連続で大幅に減少。

2表 設備投資額のDI及び実績（地域・主要業種別）

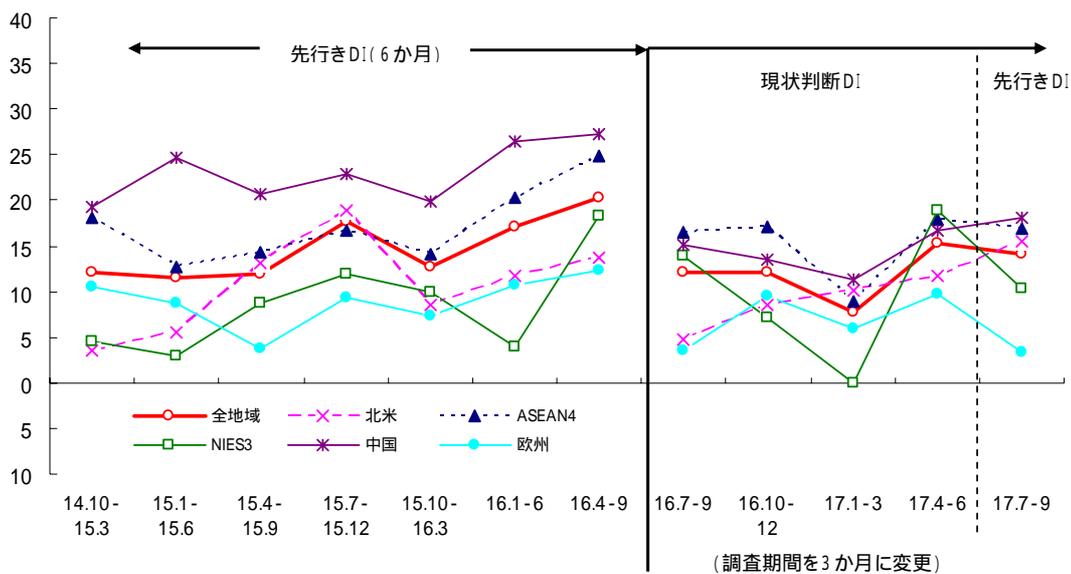
（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %）

	計(地域・業種)			北米			アジア			ASEAN4 ^{1,3}			NIES3 ²			中国(香港を含む) ⁴			欧州		
DI	8.2	15.9	14.9	10.9	11.8	15.8	8.0	17.9	16.6	9.4	18.3	16.9	0.0	18.9	10.4	10.7	17.1	17.8	5.9	9.8	3.4
DI前期比	(7.7)	1.0		(0.9)	4.0		(9.9)	1.3		(8.9)	1.4		(18.9)	8.5		(6.4)	0.7		(3.9)	6.4	
実績(前年同期比)	24.5			6.0			36.7			30.8			19.9			81.2			44.3		
	輸送機械			電気機械			一般機械			化学			鉄鋼								
DI	15.8	18.3	11.9	3.3	9.3	6.5	5.1	16.1	22.4	6.6	16.9	13.7	6.2	20.5	26.6						
DI前期比	(2.5)	6.4		(6.0)	2.8		(11.0)	6.3		(10.3)	3.2		(14.3)	6.1							
実績(前年同期比)	26.2			32.7			78.8			18.4			67.9								

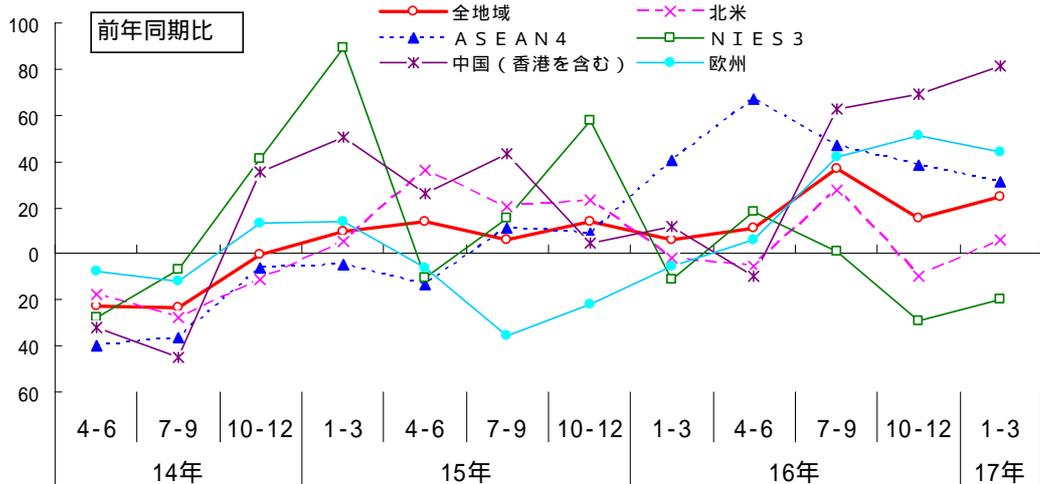
注)DIは、「17年1～3月(現状) 17年4～6月(現状) 17年7～9月(先行き)」の順である。

DI前期比は、カッコ内が「現状判断DIの前期比」、カッコ外が「先行きDIの前期比」である(1ページの注を参照)。

4図 設備投資額D_iの推移 (地域別)



5図 設備投資額(ドルベース)の推移 (地域別)



3. 雇用

従業者数先行きD I (17年7-9見通し)は、8.3%ポイント。
N I E S 3がやや回復し、すべての地域でプラス水準。

- ・ 現状判断D I (17年4-6月見通し)は、N I E S 3を除くすべての地域でプラス水準。北米の2桁台の水準が目立つ。
- ・ 先行きD Iの前期比は、N I E S 3を除きわずかに悪化。北米・欧州は、主力業種の電気機械、輸送機械等が悪化。アジアはやや悪化。中国、A S E A N 4は2桁台のプラス水準を維持したものの、鉄鋼等の悪化によって、わずかに悪化。

従業者数(平成17年3月末)は、前年同期比4.3%増と12期連続の増加。

北米、欧州は減少となったが、アジアは同 6.6%増と引き続き増加。
中国は電気機械、輸送機械等が引き続き増加。A S E A N 4は輸送機械が4期連続2桁台の増加。

- (1) 従業者数現状判断D I (17年4-6月)は、10.9%ポイントと前期現状判断D I (17年1-3月)に比べ、3.0%ポイントの改善。
先行きD I (17年7-9月)は、8.3%ポイントと今期現状判断D I (17年4-6月)に比べ、2.6%ポイントのわずかな悪化。(3表)

- ・ 先行きD Iは、8.3%ポイントで、すべての地域でプラス水準。前期比は、N I E S 3を除くすべての地域でわずかに悪化。北米(同 6.0%ポイント)は、大きく改善した現状判断D Iに比べ、先行きD Iは悪化の見込み。欧州(同 2.3%ポイント)は、電気機械、輸送機械など主力業種が悪化。アジア(同 1.4%ポイント)はわずかに悪化。中国(同 0.9%ポイント)、A S E A N 4(同 2.3%ポイント)は、2桁台のプラス水準を維持したものの、鉄鋼の悪化からそれぞれわずかに悪化。一方、N I E S 3(同 0.4%ポイント)は、電気機械がマイナス水準幅を縮小し、やや回復。

- (2) 従業者数(平成17年3月末)は252万人、前年同期比4.3%増と12期連続の増加(3表)。

- ・ 北米、欧州は減少となったが、アジアは増加。アジアでは、特に中国の電気機械が引き続き好調なことから、同 9.9%増と12期連続の増加。また、A S E A N 4は、輸送機械が4期連続2桁台の増加と引き続き増加。一方、北米は、電気機械の減少により同 0.8%減、欧州は、輸送機械が4期連続の増加となったものの、電気機械の大幅な減少により、同 0.5%の微減。N I E S 3は、電気機械の減少により、同 0.1%とわずかに減少。

3表 従業者数のD I及び実績(地域・主要業種別)

(単位: D I及びD I前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %)

	計(地域・業種)			北米			アジア			A S E A N 4 ^{1,3}			N I E S 3 ²			中国(香港を含む) ^{1,4}			欧州		
D I	7.9	10.9	8.3	2.7	10.2	4.2	10.9	12.1	10.7	10.2	13.2	10.9	1.6	0.4	0.0	16.1	15.2	14.3	2.7	5.4	3.1
D I前期比	(3.0)	2.6		(7.5)	6.0		(1.2)	1.4		(3.0)	2.3		(1.2)	0.4		(0.9)	0.9		(2.7)	2.3	
実績(前年同期比)	4.3			0.8			6.6			4.1			0.1			9.9			0.5		
	輸送機械			電気機械			一般機械			化学			鉄鋼								
D I	11.7	16.3	14.4	5.7	8.5	8.3	7.3	14.6	14.0	12.9	9.1	7.3	14.5	14.8	3.7						
D I前期比	(4.6)	1.9		(2.8)	0.2		(7.3)	0.6		(3.8)	1.8		(0.3)	11.1							
実績(前年同期比)	8.3			4.1			7.7			0.8			2.8								

注) D Iは、17年1~3月(現状) 17年4~6月(現状) 17年7~9月(先行き)の順である。

D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコ外が「先行きD Iの前期比」である(1ページの注を参照)。